

SCSI & USB 2.0 HARD DISK UNIT

LHD-EAxxSU2シリーズ
LHD-HAxxSU2シリーズ

HDユニット

ユーザーズマニュアル

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
付属品の確認	4
ごあいさつ	5
ご注意	5
第1章 製品のご紹介	6
1.1 製品概要	6
1.2 使用環境について	8
1.3 各部の名称と機能	10
1.4 設置方向について	12
1.5 接続の前に	13
第2章 SCSIで接続する場合の使い方	15
2.1 SCSI ID ナンバーの設定	15
2.2 接続の手順	17
2.3 接続後にやること	19
2.4 補足事項	21
第3章 USBで接続する場合の使い方	24
3.1 接続の手順	24
3.2 接続後にやること	26
3.3 ドライバのインストール方法	28
3.3.1 Windows 98 の場合	28
3.3.2 Mac OS 8.6 の場合	30
3.4 本製品の取り外しについて	32
第4章 ハードディスクのフォーマット	34
4.1 Windows XP, 2000 でのフォーマット手順	34
4.2 Windows Me, 98 でのフォーマット手順	35
4.3 Windows NT 4.0 の場合	36
4.4 Mac OS X でのフォーマット手順	37
4.5 Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 でのフォーマット手順	38
第5章 パスワードの設定	42
第6章 補足事項	48
6.1 PC 電源連動機能について	48
6.2 オプション品について	50
6.3 トラブルシューティング	52

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



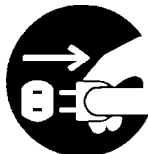
この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

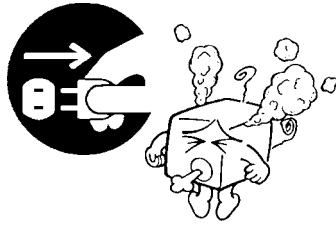


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークはACアダプタをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

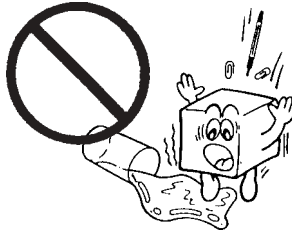
本体から異臭や煙が出た時は、ただちにACアダプタをコンセントから抜いてお買い求めいただいた販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

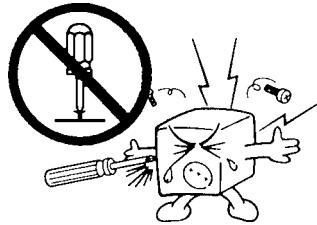
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合はお買い求めいただいた販売店にご相談ください。



正しい電源で

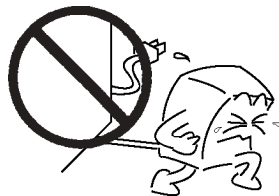
使用してください。

ACアダプタは必ず、AC100Vのコンセントに接続してください。



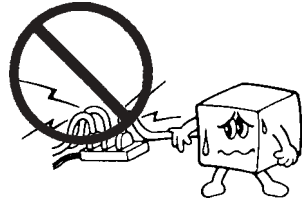
ケーブル類を大切に。

ACアダプタのケーブル、USBケーブル、SCSIケーブルは破損しないように十分ご注意ください。ケーブル部分を持って抜き差ししたり、ケーブルの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



⚠ 注意

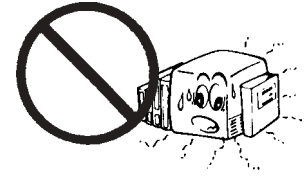
ACアダプタは、なるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



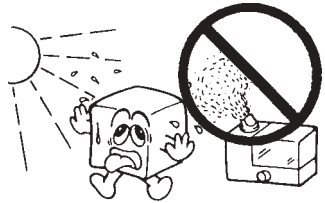
ケーブル類は必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



本体の周りを本などで覆わないで下さい。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



付属のACアダプタは、本製品専用です。他の機器に接続して使用しないでください。



その他の禁止事項

ご注意

当社DOS/V対応製品は、一般的なDOS/Vパソコンで確認を行っております。ただし、発売されている全てのDOS/Vパソコンで動作確認を行うことは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在致しますことをご承知おきください。また、自作パソコンやショップ製組み立てパソコンの場合、各種部品との相性などにより、本製品が正常に動作しない場合がございますことをご承知おきください。

付属品の確認

HDユニット	1台
ACアダプタ (LA-20WC5S)	1個
USBケーブル (USB 2.0 High-Speed 対応: 1m)	1本
SCSIケーブル (D-sub ハーフピッチ 50ピン)	1本
縦置き用スタンド	1セット
横置き用ゴム足	1シート
ハードウェア仕様一覧表	1枚
「LogitecWare」CD-ROM	1枚
B's Crew 用登録カード	1枚
保証書	1枚
HDユニット・ユーザーズマニュアル	本書

本製品は電子精密機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品に保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* MS[®]、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

第 1 章

製品のご紹介

1.1 製品概要

1

本製品は USB 2.0/1.1 および Ultra SCSI に対応した外付型ハードディスクユニットです。

本製品の特徴

転送モード識別表示ランプが搭載されています。本製品前面の「アクセス兼転送モード識別表示ランプ」の点灯色によって高速転送モード（USB 2.0 High-Speed または SCSI 転送）と、低速転送モード（USB 1.1 Full-Speed 転送）をひと目で見分けることができます。

パスワードロックによるシークレット機能を搭載しています。4桁までの暗証番号を登録してハードディスクをロックし、大切なデータを第三者から守ることができます。（詳しくは第5章をご参照ください。）

PC電源連動機能を搭載しているので、パソコンの電源のON/OFFに連動して本製品の電源のON/OFFを自動的に行います。また、パソコンが省電力モードやスタンバイモードになった場合も、自動的に電源がOFFになり、復帰時にONとなります。

高速での書き込みが可能な Ultra SCSI と USB 2.0 High-Speed に対応しているのでハードディスクの性能をフルに発揮することができます。また、従来の USB 1.1 ポートにも接続ができるので、非常に幅広いパソコンで使用できます。

LHD-EAxxSU2 シリーズはディスク回転数が 5400rpm の、LHD-HAxxSU2 はディスク回転数が 7200rpm のハードディスクをそれぞれ採用しています。

USB インターフェースは接続が容易でホットプラグ（パソコンの電源が ON の状態での取り付け、取り外し）に対応しているので、必要になったときだけパソコンに接続し、バックアップや大容量データの交換などの用途に最適です。

美しさ、強さ、放熱性を兼ね備えた一体型アルミボディを採用しています。放熱性能の向上により、安定したパフォーマンスを実現しています。



重要なご注意

- ・ ご使用のパソコンによっては、PC 電源連動機能が正常に機能しない場合があります。その場合は背面の電源スイッチでON/OFFを切り替えてご使用ください。
 - ・ PC カードタイプの SCSI インターフェースをご使用の場合は PC 電源連動機能をご使用になれません。また、ご使用の SCSI インターフェースボードの仕様によっては PC 電源連動機能が機能しない場合があります。そのような場合は本製品の電源スイッチを ON にしてご使用ください。
 - ・ スタンバイ状態から復帰する時にシステムが不安定になるような場合は、パソコンのスタンバイ（省電力）機能を OFF に設定してください。
 - ・ 本製品を接続した状態でパソコンを起動する際、PC電源連動機能により、本製品の電源がON/OFFを繰り返す場合がありますが、問題ありませんのでそのままご使用ください。
 - ・ 本製品を SCSI インターフェース、USB インターフェースの両方同時に接続することはできません。
 - ・ 本製品はバスパワーでは動作しません。ご使用の際は、必ず付属の AC アダプタを AC100V のコンセントに接続して電源を供給してください。
 - ・ 付属の AC アダプタは本製品専用です。他の機器に接続して使用しないでください。
-



参考

アルミボディは熱の伝導性が高いため、本製品の動作中にボディ表面に触れると熱く感じる場合がありますが、これは異常ではありません。

1 . 2 使用環境について

1

SCSI 接続の際の使用条件

対応パソコン

本製品を SCSI インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。パソコンは SCSI インターフェースボードが搭載されているか、搭載可能なものに限定されます。詳細な機種については接続に使用する SCSI インターフェースボードに依存しますので、SCSI インターフェースボードのマニュアルをご参照ください。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	Macintosh シリーズ

対応 OS

本製品を使用する場合には、以下の OS をご使用ください。すべて日本語版 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社

Windows XP HomeEdition/Professional
Windows Me
Windows 98 (Second Edition 含む)
Windows 2000 Professional
Windows NT 4.0 Service Pack 4 以降

アップルコンピュータ社

Mac OS 7.6 ~ 9.2.2 まで
Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 まで ()
Mac OS X 10.2 以降 ()

Mac OS X でご使用の場合、SCSI インターフェースボードが Mac OS X に対応していなければなりません。なお、弊社より発売されている SCSI インターフェースボードは Mac OS X には未対応です。

USB 接続の際の使用条件

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のような環境条件を満たしていなくてはなりません。

対応パソコン

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべてUSBポートを搭載している機種に限定されます。また、High-Speedでの転送を実現するためにはパソコン本体のインターフェースがUSB 2.0に対応していなければなりません。

各社	DOS/V パソコン	
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ	
アップルコンピュータ社	MacBook Pro	
	Mac mini	eMac
	iBook、	iBook G4
	iMac、iMac G5	
	Power Mac G5	Power Mac G4
	Power Mac G4 Cube	
	Power Macintosh G3 (Blue and White)	
	PowerBook G4、PowerBook (FireWire)	
	PowerBook G3 (BronzeKeyboard)	

対応 OS

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下のOSをご使用ください。すべて日本語版OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

マイクロソフト株式会社

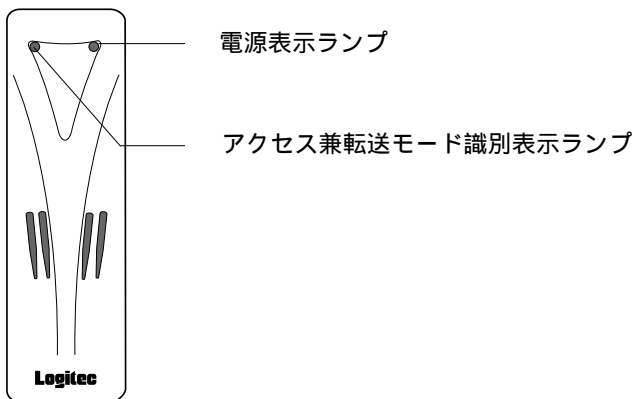
Windows XP Home Edition / Professional
 Windows Me
 Windows 98 (Second Edition 含む)
 Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 まで
 Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 まで
 Mac OS X 10.2 以降

1 . 3 各部の名称と機能

本製品前面



電源表示ランプ

本製品の電源が ON になると電源表示ランプが青色に点灯します。

アクセス兼転送モード識別表示ランプ

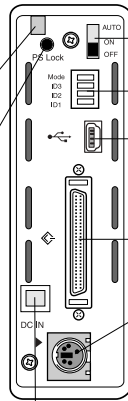
SCSI、USB 2.0 接続時は緑色に、USB 1.1 接続時はオレンジ色にそれぞれ点灯します。また、アクセス時は SCSI、USB 2.0 接続時はオレンジ色に、USB 1.1 接続時は赤色に点滅します。

パスワード設定・入力時は、それぞれの状態を緑色・赤色・オレンジ色の点灯・点滅で表します。詳しくは第 5 章をご参照ください。

本背品背面

盗難防止用ホール

ロックボタン



電源スイッチ

ディップスイッチ

USBmini-B コネクタ

SCSI コネクタ

電源コネクタ

ケーブル抜け防止フック

盗難防止用ホール

盗難防止用にワイヤなどを取り付けておくことができます。

ロックボタン

このボタンを使用してパスワードの設定 / 解除を行います。前面のアクセス表示ランプを確認しながら操作します。詳しくは第5章をご参照ください。

電源スイッチ

本製品の電源を ON/OFF します。スイッチを「AUTO」にすると、自動的に PC 電源連動機能が有効となります。(PC 電源連動機能については「6.1 PC 電源連動機能について」をご参照ください) スイッチを「ON」にすると、常に電源が供給された状態になります (PC 電源連動機能は働きません)。

ディップスイッチ

本製品を SCSI 接続する場合に、本製品の SCSI ID ナンバーの設定を行いません。また、SCSI 接続時に正常に動作しない場合にも使用します。詳しくは「第2章 SCSI で接続する場合の使い方」をご参照ください。

USBmini-B コネクタ

付属の USB ケーブルでパソコン本体の USB ポートと接続します。

SCSI コネクタ

本製品を SCSI 接続する場合に、パソコン本体の SCSI インターフェースと接続します。

電源コネクタ

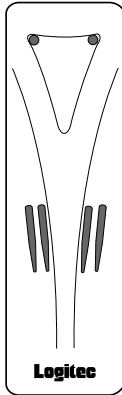
付属の AC アダプタを使用して AC100V のコンセントと接続します。

ケーブル抜け防止フック

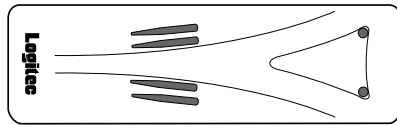
ケーブルがコネクタから抜けるのを防止するためのフックです。

1 . 4 設置方向について

本製品は縦置き、横置きのどちらでも使用することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置するとトラブルの原因となる場合があります。

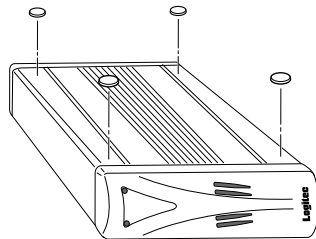
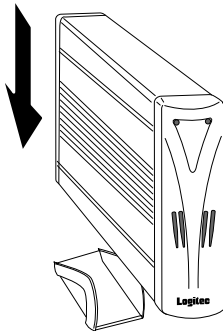


縦置きの場合



横置きの場合

縦置きの場合は、本製品付属のスタンドをご使用ください。(下左図)横置きの場合は、底面の4箇所付属のゴム足を貼付してください。(下右図)



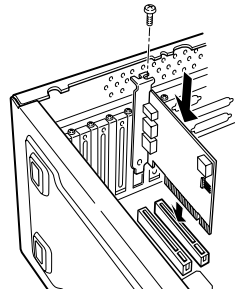
上図は底面を上にするため、設置方向とは逆になっていますのでご注意ください。

1 . 5 接続の前に

インターフェースボードの接続

パソコン本体に SCSI ポートまたは USB 2.0 ポートがない場合は、別売のインターフェースボード（PCI バス用インターフェースボード、もしくは CardBus 対応インターフェースカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前にインターフェースボードのマニュアルにしたがって、接続やドライバのインストール等を行っておいてください。（本書の第2章以降はすべてこれらの作業が終了していることを前提としています。）



Point

ポイント

- ・ ご使用のパソコンに搭載されている SCSI コネクタの形状が D-sub ハーフピッチ 50 ピンと異なる場合は、別売の変換ケーブルが必要になります。
- ・ インターフェースボードや変換ケーブルについては「6 . 2 オプション品について」をご参照ください。



本製品の出荷時フォーマット形式についてのご注意

重要!

本製品は出荷時に DOS (FAT32) 形式でフォーマットされていますので、パソコンに接続すればすぐにアクセスすることができますが (Macintosh の環境、Windows NT 4.0 環境を除く)、なるべく各 OS に最適なフォーマット形式で再フォーマットすることをお勧めします。

本製品を Windows XP、2000 のみでご使用になる場合、Windows XP、2000 の NTFS 形式でフォーマットしてください。

本製品を Macintosh のみでご使用になる場合は、HFS+ (Mac OS 拡張) で初期化してください。

本製品を Windows NT 4.0 でご使用になる場合は Windows NT 4.0 の標準ユーティリティ「ディスクアドミニストレータ」にてフォーマットを行なってください。

Windows と Macintosh の両環境で共有したい場合は DOS (FAT32) 形式で 1パーティションの容量を 120GB 以下にしてください。(ただし、Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5、Windows NT 4.0 では共有できません)

その他の環境または、複数の OS でご使用になる場合は、DOS (FAT32) のままご使用ください。ただし、以下の点にご注意ください。

DOS 形式でフォーマットされたハードディスクを Macintosh でアクセスするには Macintosh 標準のユーティリティ「File Exchange」が必要です。(Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 は未対応です。)

DOS 形式でフォーマットされたハードディスクを Macintosh 環境に接続した後、Windows 環境で再接続して、スキャンディスク (Windows 標準の検査ユーティリティ) を実行すると、必ずエラーが報告されます。このエラーは使用上問題ないものですが、これを「修復」すると Macintosh 環境で致命的なエラーが発生する場合がありますので、絶対にスキャンディスクでの「修復」は行わないでください。

Windows / Macintosh 間でのデータ交換は、あくまで一時的なデータ移動のみに留めておいてください。MacOS 本来のファイルシステムでないディスクにアクセスするため、恒久的な保存用途には適していません。また、データ以外のアプリケーションなどをこのディスクに保存することは行わないでください。

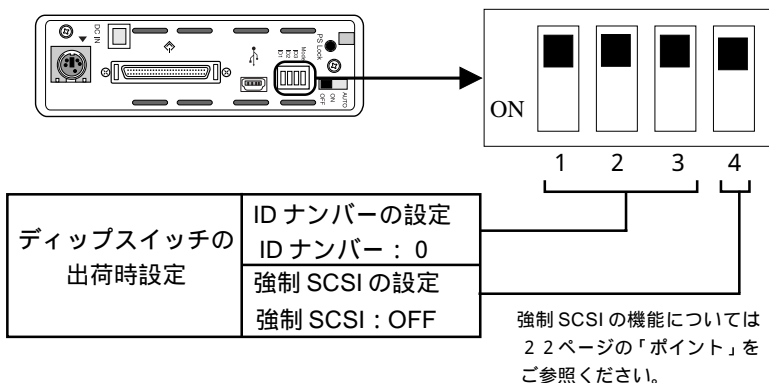
第 2 章

SCSI で接続する場合の 使い方

ここでは、本製品をSCSI接続する場合の接続と注意事項などについてご説明いたします。ここでの作業は、ご使用のパソコンにSCSIインターフェースが搭載されていることを前提とします。

2 . 1 SCSI ID ナンバーの設定








パソコンとの接続を行なう前に、本製品背面のディップスイッチにてSCSI ID ナンバーの確認 / 設定を行なってください。



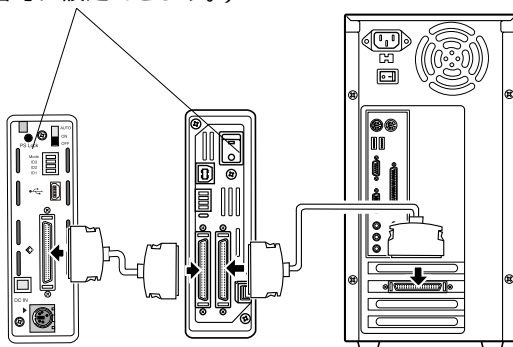
「ID ナンバー」は SCSI 機器を区別するための番号です。「0」～「6」の範囲で任意の番号に設定できますが、併用する SCSI 機器と重複があってはなりません。(例えば、同じ SCSI インターフェースに ID ナンバー「0」に設定した機器が 2 台接続されてはいけません。どちらかを別の番号にする必要があります。)

2.1 SCSI ID ナンバーの設定

本製品は出荷時設定で SCSI ID 「0」に設定されています。本製品の他に併用する機器がない場合は出荷時設定から変更する必要はありません。次の「接続の手順」へお進みください。複数の SCSI 機器を併用される場合は、以下をご参照の上、必要に応じて SCSI ID ナンバーを変更してください。

IDナンバー：0	IDナンバー：1	IDナンバー：2	IDナンバー：3
ON  1 2 3	ON  1 2 3	ON  1 2 3	ON  1 2 3
IDナンバー：4	IDナンバー：5	IDナンバー：6	
ON  1 2 3	ON  1 2 3	ON  1 2 3	

必ず異なる ID ナンバーに設定します。
(重複がなければ 0 ~ 6 の範囲で好きな番号に設定できます。)



ポイント

Point

- ・本製品は SCSI コネクタが 1 つしかないため、複数の SCSI 機器を接続する場合、終端にしか接続できません。
- ・本製品の内蔵ターミネータは常に ON となっています。複数の SCSI 機器を接続する場合、本製品以外は OFF に設定してご使用ください。

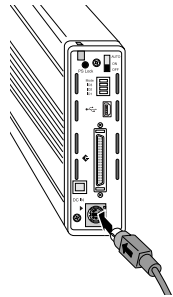
2.2 接続の手順



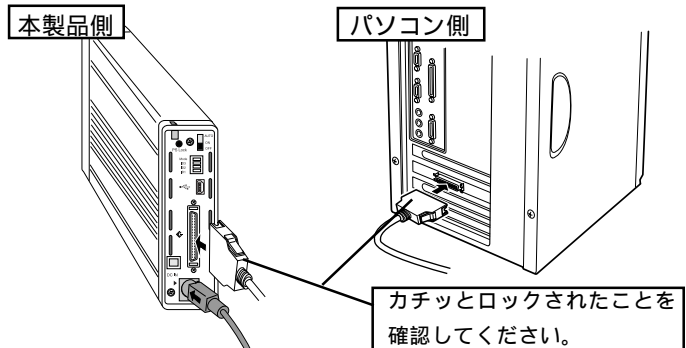
重要なお注意

- ・ 接続の前にならず本製品、パソコン本体、およびそこに接続されたすべての周辺機器の電源を OFF にしてください。また、SCSIインターフェースボードを新規接続する場合は、あらかじめ、SCSIインターフェースボードのマニュアルを参照して接続しておいてください。
- ・ 本製品の SCSI コネクタは接点にピンを使用しています。そのため、間違ったコネクタに差し込んだり、無理に力を加えるとピンが曲がってしまいます。ケーブル接続時は SCSI コネクタの種類と方向を確認して、正面から接続してください。接続しにくい場合は無理に力を加えないでピンが曲がっていないかどうかを確認してください。

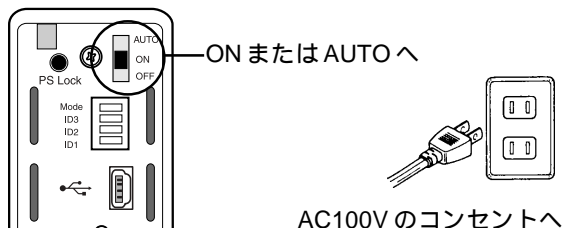
本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタを接続してください。



本製品背面の SCSI コネクタとパソコンの SCSI ポートを付属の SCSI ケーブルで接続してください。



本製品に接続した AC アダプタの電源プラグを AC100V のコンセントに接続し、電源を ON または AUTO にしてください。



 **ご注意**

- ・ PC 電源連動機能をご使用の場合は、電源スイッチを「AUTO」に設定します。ただし、PCカード等ターミネータパワーを供給しない増設 SCSI インターフェースに接続する場合は、PC 電源連動機能が正常に機能しませんので、その場合は、本製品の電源を ON にしてご使用ください。
- ・ 電源スイッチを「AUTO」に設定してパソコンを起動した場合、本製品の電源が数回切れる場合があります。これは PC 電源連動機能によって発生する現象ですので、問題はありません。

以上で接続は終了です。「2.3 接続後にやること」へお進みください。

説明し使用しているパソコンの図は DOS/V パソコンを元にしてありますが、基本的な接続方法はその他のパソコンでも同じです。

ただし、本製品を Macintosh PowerBook シリーズの旧機種 (HDI 30 ピンの SCSI コネクタを持つ機種で、Macintosh Power Book 2400、3400、G3 を除くもの) に接続する場合は、特殊な接続方法になりますので、「2.4 補足事項」の「Macintosh Power Book に接続する場合」をご参照ください。

2 . 3 接続後にやること

Windows XP、Me、98、2000 の場合

接続後本製品の電源を入れると、自動的に電源が供給され、本製品のドライバがインストールされ、使用可能となります。以下の手順で本製品が正しく認識されたかを確認してください。

Windows XP



「スタート」ボタン 「マイコンピュータ」をクリックします。マイコンピュータに左のようなハードディスクのアイコンが追加されていれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。

Windows Me , 98, 2000



デスクトップの「マイコンピュータ」のアイコンをクリックします。左のようなハードディスクのアイコンが追加されていれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。(アイコンに付く名前は OS により異なります。)

Windows NT 4.0 の場合



Windows NT 4.0 でご使用の場合は、接続後に本製品のフォーマットを行なう必要があります。フォーマット方法については「第 4 章 ハードディスクのフォーマット」をご参照ください。フォーマットを行なうと、デスクトップに左のようなアイコンがマウントされます。このアイコンが表示されれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。



Mac OS X 10.0.4
以降



Mac OS 9.2.2まで

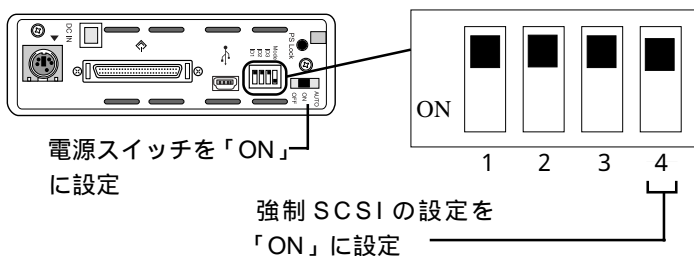
Macintosh 環境の場合

Macintosh でご使用の場合は、接続後に本製品のフォーマットを行なう必要があります。フォーマット方法については「第 4 章 ハードディスクのフォーマット」をご参照ください。フォーマットを行なうと、デスクトップに左のようなアイコンがマウントされます。このアイコンが表示されれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。

Point

ポイント

本製品が SCSI 機器として認識されない場合は、本製品背面のディップスイッチ 4（強制 SCSI）を「ON」にし、電源スイッチを「ON」に設定してご使用ください。



設定を変更する場合は、いったん本製品とパソコンの電源を OFF にしてから行なってください。

USB 接続でご使用になる場合は、必ずディップスイッチ 4（強制 SCSI）を「OFF」に戻しておいてください。「ON」のままでは USB 接続時に認識されなくなります。

参考

参考

アクセス兼転送モード識別表示ランプによって、認識されている転送モードを確認することができます。

- ・高速転送モード（SCSI、USB 2.0 High-Speed）
 - 接続時 ：緑色
 - アクセス時 ：オレンジ色
- ・低速転送モード（USB 1.1 Full-Speed）
 - 接続時 ：オレンジ色
 - アクセス時 ：赤色

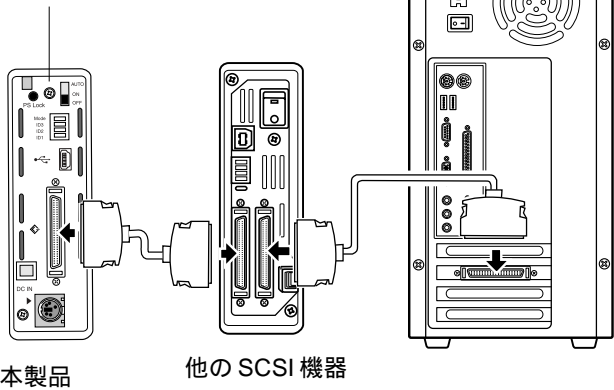
2 . 4 補足事項

他の SCSI 機器との併用について

SCSI 規格では、複数の SCSI 機器を数珠つなぎにして 1 つの SCSI インターフェースに接続することができます。ただし、本製品には SCSI コネクタが 1 つしかないため、本製品を他の SCSI 機器と併用する場合は、必ず終端の位置に来るように接続してください。接続の際は、次ページの注意事項にご注意ください。

2

本製品が必ず終端の位置になります



注意事項

- ・接続台数は原則的に以下の通りです。詳細についてはSCSIインターフェイスボードのマニュアルをご参照ください。

UltraSCSI の場合	3 台まで
FastSCSI の場合	7 台まで

- ・ケーブル長は内蔵ケーブルも含むすべての合計が3m以下でなければなりません（ケーブルは短ければ短いほど動作が安定します）。
- ・IDナンバーは必ず重複しないように設定してください。
- ・中間の位置にあるSCSI機器のターミネータは全て無効としてください。



ご注意

必要以上に多くのターミネータが有効になっていると、過電流で機器を損傷する場合があります。

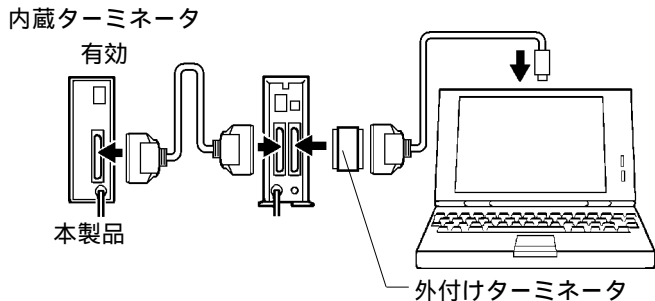
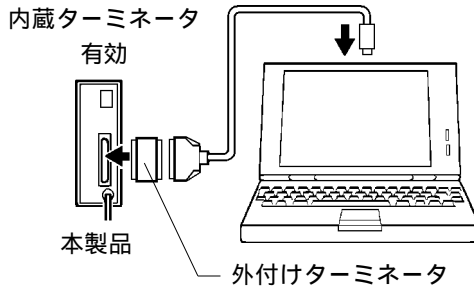
本製品の取り外しについて

SCSI 接続の機器は、パソコンの電源がONの時に取り外しを行なってはいけません。本製品をSCSI接続でご使用の場合、本製品を取り外す前に、**必ずパソコンの電源をOFFにしておいてください。**

Macintosh PowerBook に接続する場合

Point

Macintosh PowerBookシリーズの旧機種（HDI 30ピンのSCSIコネクタを持つ機種で、Macintosh PowerBook 2400、3400、G3を除くもの）では、SCSIインターフェースにターミネータが内蔵されていません。**そのため、これらの機種では、SCSI機器を挟み込むように2個のターミネータを必要とします。**つまり別途、外付けターミネータが必要だということです。（Macintosh PowerBook 2400、3400、G3はターミネータを内蔵していますので、外付けターミネータは必要ありません。）



図のように外付けターミネータは、両端にSCSIコネクタを持つタイプ（両切）でなければなりません。弊社ではこのタイプのターミネータは発売しておりませんので、必要な場合は、別途市販のものをご用意ください。

第3章

USBで接続する場合の 使い方

ここでは、本製品をUSB接続する場合の接続と注意事項などについてご説明いたします。

確認事項

接続先のパソコンにUSB 2.0 拡張ポートがある場合はそちらに接続してください。

USB 2.0拡張ポートがない場合、USB 1.1 ポートへ接続してください。その場合の転送速度はFull-Speed(12Mbps)までとなります。

3

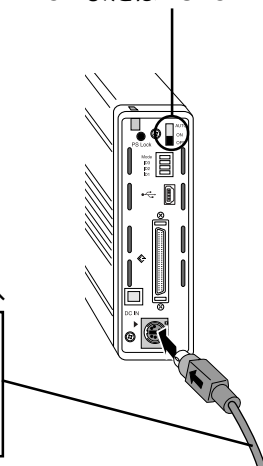
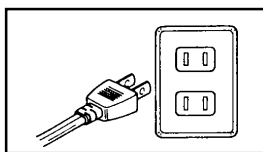
3.1 接続の手順

パソコン本体の電源をONにしてシステムを起動してください。このときWindows XP, 2000をご使用の場合は管理者権限をもつユーザー(例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」等)としてログオンしてください。

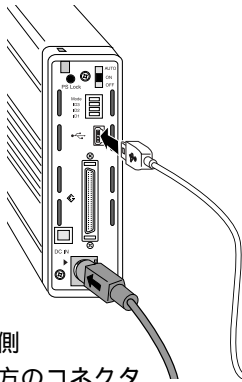
本製品背面の電源コネクタにACアダプタを接続し、電源プラグをAC100Vのコンセントに接続し、背面の電源スイッチをONまたはAUTOにしてください。前面の電源表示ランプが青色に点灯します。

ONまたはAUTOへ

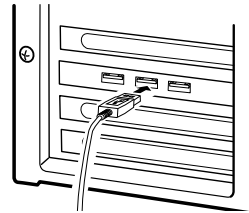
AC100Vのコンセントへ



付属のUSBケーブルで本製品のUSB mini- B コネクタと、パソコン側のUSBポートを接続してください。以上で接続は終了です。下のパソコンの図はDOS/Vパソコンを元にしていますが、USBポートの位置はパソコンによって異なります。ご使用のパソコンのUSBポートを確認して接続してください。)



本製品側
小さい方のコネクタ



パソコン本体側の例
大きい方のコネクタ

以上で、接続は終了です。「3.2 接続後にやること」へおすすみください。



重要なご注意

- ・本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0対応ケーブルを使用してください。USB 1.1用ケーブルでUSB 2.0ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・USB 1.1ポートへ接続して使用する際もなるべくUSB 2.0対応ケーブルをご使用ください。

3 . 2 接続後にやること

Windows XP, Me, 2000 の場合

Windows XP, Me, 2000 では本製品を USB インターフェースで使用するためのドライバが標準添付されています。そのため、本製品を接続すると自動的に電源が供給され、ドライバがインストールされます。以下の手順で本製品が正しく認識されたかを確認してください。

Windows XP

「スタート」ボタン 「マイコンピュータ」をクリックします。マイコンピュータに下のようなハードディスクのアイコンが追加されて、アクセス兼転送モード識別表示ランプが点灯すれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。



Windows Me, 2000

デスクトップの「マイコンピュータ」のアイコンをクリックします。下のようなハードディスクのアイコンが追加されて、アクセス兼転送モード識別表示ランプが点灯すれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。(アイコンに付く名前は OS により異なります)



Windows 98 (Second Edition 含む) の場合

Windows 98 の場合は、接続後に本製品付属のドライバをインストールする必要があります。「3 . 3 ドライバのインストール方法」へお進みください。

Macintosh 環境の場合

Macintosh環境でご使用の場合は、接続後にアクセス兼転送モード識別表示ランプが点灯します。点灯後に本製品のフォーマットを行う必要があります。フォーマット方法については「第4章 ハードディスクのフォーマット」をご参照ください。フォーマットを行なうと、デスクトップに下のようなアイコンがマウントされます。このアイコンが表示されれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。



Mac OS X 10.0.4
以降



名称未設定
Mac OS 9.2.2まで

ただし、Mac OS 8.6 をご使用で以下のようなメッセージが表示された場合は、本製品はOS標準のドライバでは認識されません。フォーマットを行う前に「3.3 ドライバインストールの方法」を参照してドライバをインストールしてください。



Point

ポイント

アクセス兼転送モード識別表示ランプによって、認識されている転送モードを確認することができます。

- ・高速転送モード（SCSI、USB 2.0 High-Speed）
 - 接続時 ： 緑色
 - アクセス時 ： オレンジ色
- ・低速転送モード（USB 1.1 Full-Speed）
 - 接続時 ： オレンジ色
 - アクセス時 ： 赤色

3.3 ドライバのインストール方法

ここでは Windows 98 と Mac OS 8.6 を USB 接続でご使用の場合に必要な USB ドライバのインストール方法についてご説明します。

3.3.1 Windows 98 の場合

(Second Edition 含む)

接続が完了すると、本製品がプラグ & プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が選択されている状態で

2. 「次へ」をクリック



右下のウィンドウが表示されたら、パソコン本体内蔵の CD-ROM ドライブに本製品付属の「LogitechWare」CD-ROM をセットし、「検索場所の指定」だけがセットされている状態で、下のテキストボックスに「D:¥DRIVERS¥LGUSBBLK¥WIN98」と入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。(次ページのポイントもご参照ください)

1. 「検索場所の指定」だけがチェックされた状態にして

2. ここに、半角英数字で以下のように入力して

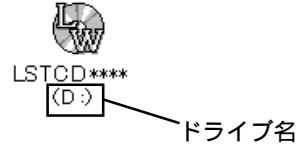
D:¥DRIVERS¥LGUSBBLK¥WIN98



3. 「次へ」をクリック

Point ポイント

ここで「D:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。
ドライブ名はマイコンピュータを開いて、「LogitechWare」CD-ROMがセットされているアイコンの名前の一番端、または下に表示されます。



右のウィンドウが表示されます。



「次へ」をクリック

必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック

以上でドライバのインストールは終了です。CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出しておいください。正常にドライバがインストールされると、右のようなハードディスクのアイコンがマイコンピュータに追加されて、アクセス兼転送モード識別表示ランプが点灯します。これで本製品は使用可能です。



3.3.2 Mac OS 8.6 の場合

標準ドライバで認識されない場合は、いったんコンピュータの電源を切り、本製品を取り外してから、以下の手順でUSBドライバのインストールを行なってください。

本製品を接続していない状態で、Macintoshのシステムを起動してください。

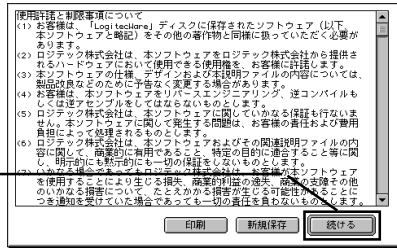
「Logitech Ware」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、デスクトップ上でCD-ROMを開き、次の手順でCD-ROM内のフォルダを開いてください。

「Drivers」 「LHD-EAU2」

LHD-EAU2フォルダを開いたら、フォルダ内に保存されている「ディスクドライバインストーラ」をダブルクリックしてください。

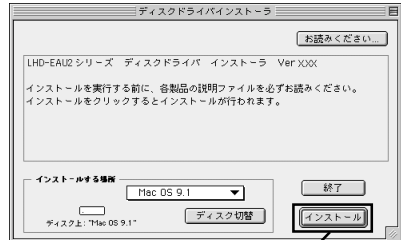
右のウィンドウが表示されます。

内容を確認して、同意する場合は「続ける」をクリック

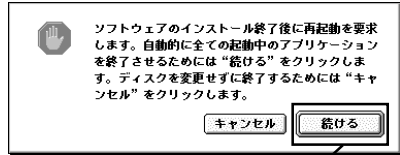


付属のフォーマッタをインストールするフォルダを選択するウィンドウが表示されます。

特に支障がない場合はそのままインストールをクリック

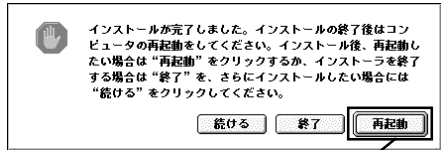


インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認のメッセージが表示されます。



他のプログラムが起動していないことを確認したら、「続ける」をクリック

必要なファイルが転送され、終了すると以下のウィンドウが表示されます。



「再起動」をクリック

以上でドライバのインストールは終了です。CD-ROMをドライブから取り出しておいてください。この後は、本製品を再度パソコンに接続し、フォーマットを行なってください。

本製品は出荷時のフォーマット形式がDOSフォーマットとなっております。このフォーマット形式はWindowsとのデータ交換を行う場合には便利ですが、恒常的にMacintoshで本製品を使用する場合には適しておりません。接続後は、「第4章 ハードディスクのフォーマット」をご参照の上、必ず再フォーマットを行ってください。

3 . 4 本製品の取り外しについて

USB 接続でご使用の場合はホットプラグ（パソコンの電源が ON の状態での取り付け、取り外し）が可能です。取り外しは以下の手順で行います。

Windows 環境の場合

本製品に保存されたアプリケーションやデータファイルが開いていないことを確認します。

タスクトレイ上の以下のアイコンをクリックします。



表示されるメッセージをクリックします。このメッセージは、使用 OS 毎に異なります。以下をご参照ください。

Windows XP

- ・「USB 大容量記憶装置デバイス ドライブ (d:) を安全に取り外します」

Windows Me の場合

- ・「USB ディスク - ドライブ (d:) の停止」

Windows 98 の場合

- ・「***** ***** を止める : ドライブ (d:)」

Windows 2000 の場合

- ・「USB 大容量記憶装置デバイス ドライブ (d:) を停止します」

Point

ポイント

- ・***** には本製品採用のハードディスクの型番が入ります。型番は容量などによって異なります。
 - ・ここで (d:) は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。
-

Windows XPでは本製品を取り外すことのできる旨のメッセージが表示されたら取り外しが可能となります。(このメッセージはしばらくすると自動的に消えますので特に操作する必要はありません。)

Windows Me, 98, 2000でも本製品を取り外すことのできる旨のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

本製品の電源が自動的にOFFされます。接続に使用しているケーブルを本製品とパソコンから取り外し、ACアダプタを本製品から取り外してください。

以上で取り外し作業は終了です。

Macintosh 環境の場合

本製品を取り外す前に必ずアンマウントという処理を行います。アンマウントは以下のいずれかの方法で行います。

- ・本製品のアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねる。
- ・本製品のアイコンを1回クリックして選択状態にし、「ファイル」メニューから「片付ける」を選択する。
- ・本製品のアイコンを1回クリックして選択状態にし、アップルキー+「Y」キーを押す。

パソコン本体がスリープ状態になっているときは、取り外しを行わないでください。

本製品に保存されているアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。



参考

電源スイッチをAUTOの位置にしていると、製品の取り外し(アンプラグ時、アンマウント時)に、本製品の電源がOFFになる場合があります。

4.2 Windows Me, 98 でのフォーマット手順

(SCSI、USB 共通)

Windows Me、98 の場合、本製品のフォーマットは付属のユーティリティ「Logitec ディスクフォーマッタ」で行います。

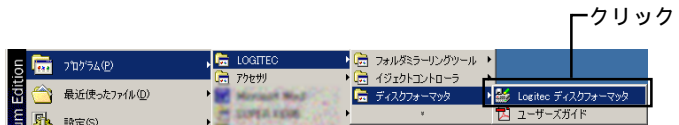
本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクフォーマッタ」をインストールしてください。

1. 「ディスクフォーマッタ」のアイコンをクリックして、選択状態にします。

2. 「セットアップの起動」をクリックします。



インストールが終了したら、ディスクフォーマッタを起動します。タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「プログラム」「Logitec」「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitec ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。(デフォルトの状態ですべてインストールした場合)



ディスクフォーマッタが起動したら、本製品のフォーマットを行います。フォーマットの手順については「ディスクフォーマッタ」のユーザーズガイドをご参照ください。



ご注意

本製品は物理フォーマットをサポートしていないため、ディスクフォーマッタの物理フォーマットに関する機能は使用できません。

4 . 3 Windows NT 4.0 の場合

(SCSI 接続時のみ)

本製品のフォーマットには Windows NT 4.0 標準のユーティリティ「ディスクアドミニストレータ」を使用します。Administrators グループでログオンして、ディスクアドミニストレータを起動し、フォーマットを行ってください。

区画の容量制限について

Windows NT 4.0 は、1 つの区画の容量に下表のような制限を持っています。

区画のタイプ	1区画の容量制限
FAT区画	4GB
NTFS区画	2,000GB

4



ご注意

- ・FAT区画の容量制限は4GBですが、2GBを超える区画を作成した場合、MS-DOSとの互換がなくなるため、フロッピーディスクなどから従来のMS-DOSを起動しても、その区画は認識されません。また、Windows 4.0のNTFS区画は容量に関係なく他のOSとの互換性を持ちません。
-

4 . 4 Mac OS Xでのフォーマット手順

(SCSI、USB 共通)

本製品を再フォーマットする場合

Mac OS X 10.2以降の場合

本製品を再フォーマットする場合は「ディスクユーティリティ」を使用します。「ディスクユーティリティ」を起動するにはメニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「アプリケーション」「ユーティリティ」「ディスクユーティリティ」を選択してください。

Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5の場合

本製品を再フォーマットする場合も「Disk Utility」を使用します。「Disk Utility」を起動するにはメニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「Application」「Utilities」「Disk Utility」を選択してください。

Point

ポイント

Mac OS でフォーマット（初期化）する場合は必ず Mac OS 拡張を選択するようにしてください。「Mac OS 標準」は旧Macと互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。



ご注意

Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 で本製品をはじめて接続してフォーマットする場合

Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 の場合、本製品を初めて接続すると「今セットしたディスクは Mac OS X で読み込めないボリュームが含まれています。」というメッセージウィンドウが表示されます。ウィンドウ下部にある「初期化」ボタンをクリックしてください。

「Disk Utility」が起動します。

後の手順は Mac OS X のヘルプを参照して初期化を行ってください。

Mac OS X 10.2以降の場合

本製品を接続しても容量制限の問題からマウントされません。再フォーマットを実行してください。

4 . 5 Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 でのフォーマット手順

ご使用のOSがMac OS 8.6 ~ 9.2.2の場合は、接続するインターフェースにより、フォーマット方法が異なります。該当する部分をご参照ください。

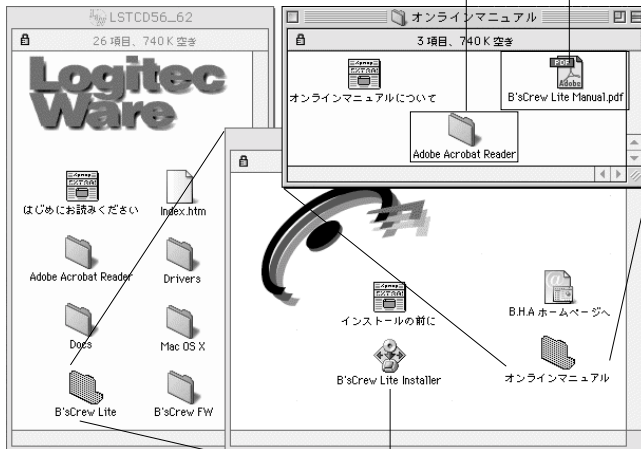
SCSI 接続の場合

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2でSCSI接続時にフォーマットを行うには、付属のCD-ROMよりフォーマットソフトウェア「B'sCrew Lite」をインストールします。

「B'sCrew Lite」は、付属の「LogitecWare」CD-ROMに収録されています。インストール手順、およびハードディスクのフォーマット手順については、オンラインマニュアルを参照してください。

オンラインマニュアルを参照するには、このソフトウェア (Adobe Acrobat Reader) をインストールする必要があります。

オンライン
マニュアル



フォーマットの
インストーラ

USB 接続の場合

USB 接続で本製品のフォーマットを行う場合、OS のバージョンにより手順が異なります。Mac OS 9.0.4 ~ Mac OS 9.2.2 の場合は以下の手順を、Mac OS 8.6 の場合は次ページの手順をそれぞれご参照ください。

Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 でのフォーマット手順

「アップルメニュー」から「コントロールパネル」「機能拡張マネージャ」を開き、「File Exchange」を「停止」してコンピュータを再起動してください。

パソコンが再起動すると「このディスクはこのコンピュータでは読めません。ディスクを初期化しますか?」というメッセージとともに初期化のウィンドウが表示されます。(下図参照)

ここで、必要に応じて名前を入力し、フォーマット形式に「Mac OS 拡張」を選択し、初期化ボタンをクリックします。

1. 名前を入力
2. 「Mac OS 拡張」を選択
3. 初期化をクリック



Point

ポイント

フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧バージョンの Mac OS と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

参考

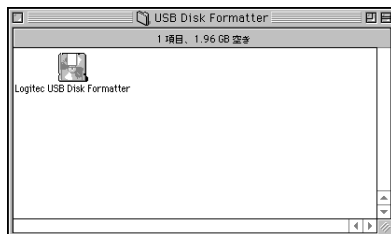
参考

デスクトップ上の本製品のドライブアイコンをクリックし「特別」から「ディスクの初期化」をクリックしても、フォーマットを行うことは可能ですが、この方法で初期化を行う場合、フォーマット形式の変更はできません。いったん、Mac OS 拡張でフォーマット後に、再フォーマットを行う場合などにご使用ください。

Mac OS 8.6でのフォーマット手順

Mac OS 8.6の場合はドライバインストール時に同時にインストールされた「USB Disk formatter」を使用してフォーマットを行います。(Mac OS 8.6を使用している場合でも標準で認識された場合は前ページの「Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2でのフォーマット手順」をご参照ください。)

本製品を接続した状態で、ドライバインストール時に作成された「USB Disk Formatter」を開き、「Logitech USB Disk Formatted」アイコンをダブルクリックしてください。



フォーマッタが起動して、右のウィンドウが開きます。

本製品はDOSフォーマットで出荷されているため、「フォーマット」の欄に「MS-DOS」と表示されます。



内容を確認したら、「ディスクの初期化」ボタンをクリックしてください。

右下のウィンドウが表示されます。必要に応じて設定等を行ってください。

ボリュームに名前を付けたい場合は、ここに入力します。

フォーマット形式をMac OS拡張にします。(推奨)



設定が終了したら、「初期化」ボタンをクリックしてください。

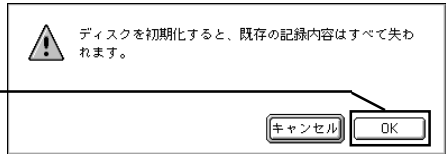
Point

ポイント

フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧バージョンのMac OSと互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

確認のメッセージが表示されます。

フォーマットしてもいいことを確認したら、「OK」ボタンをクリックしてください。



フォーマットが実行されます。通常の場合、フォーマットは数秒で終了し、右のウィンドウに戻ります。

フォーマット形式が選択したものになっていることを確認してください。



以上で本製品のフォーマットは終了です。メニューバーの「ファイル」メニューから「終了」を選択して、フォーマッタを終了してください。



参考

フォーマッタのウィンドウで表示される「マウント」ボタン、「アンマウント」ボタンは、本製品を強制的にマウント、もしくはアンマウントするためのものです。

- ・何かの原因で、本製品を接続してもボリュームが自動的にマウントされない場合は、「マウント」ボタンをご使用ください。
- ・何かの原因で、通常的手段（次節参照）で本製品がアンマウントできなくなってしまった場合は、「アンマウント」ボタンをご使用ください。

第5章

パスワードの設定

本製品にはパスワードロック機能がついています。パスワードを設定しておけば盗難や紛失時にハードディスクの中に保存されたデータの漏洩を防ぐことができます。

パスワードロック機能の特徴

パスワードの設定および認証は、本製品背面のロックボタンで行いますので、特別なソフトウェアなどは必要ありません。ハードディスク自身がパスワード情報を保持しますので、たとえ分解されても、データを不正にコピーされることはありません。

パスワードを設定すれば、電源が入るたびにパスワードを入力しなければならないため、設定を知らない人に使用される心配はありません。

パスワード設定時および設定後は「アクセス兼転送モード識別表示ランプ(以降アクセス表示ランプと省略します)」が状態に応じて以下のように変化します。

動作状態	アクセス表示ランプ	電源表示ランプ
通常動作時 パスワード未設定時の電源投入後	消灯、またはパソコンに接続済みの場合は、転送モードによる	点灯
設定する新しいパスワードの入力待ち	オレンジ色・点灯	点灯
設定する新しいパスワードの入力中	オレンジ色・点滅	点灯
パスワードの入力待ち	赤色・点灯	点灯
パスワード入力中	赤色・点滅	点灯
動作停止	消灯	消灯

5



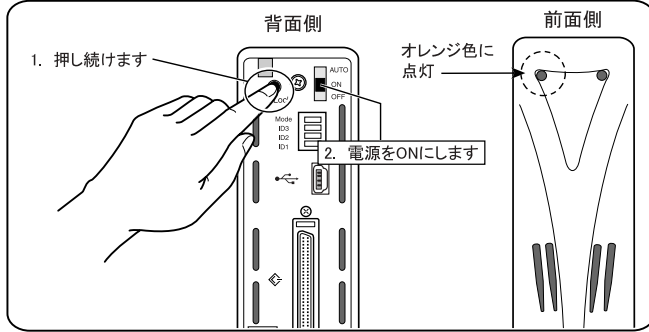
重要なお注意

- ・本書巻末にはパスワード控え欄を用意してあります。この欄に設定したパスワードを書きとめるなどしてパスワードを忘れないようにしてください。**パスワードを忘れた場合、本製品に保存されているデータには一切アクセスできなくなります。**
- ・パスワード設定後、そのパスワードを入力して本製品にアクセスできるかを何回か確認してからご使用になられることをお勧めします。
- ・パスワードを忘れた場合、弊社でも工場出荷時に戻す以外の対応はいたしかねます。その場合ハードディスク内に保存されていたデータは全て消去されますので十分にご注意ください。

パスワードを設定しない場合は通常のHDとしてご使用いただけます。

パスワードを新規に設定する方法

ACアダプタを接続して、背面のロックボタンを押しながら、本製品の電源を「ON」にしてください。アクセス表示ランプがオレンジ色に点灯します。



アクセス表示ランプがオレンジ色に変化したことを確認したらいったんボタンから指を離してください。

次に、パスワードを入力します。

パスワードは1～9までの数字を1～4桁までの範囲で設定します。

例えばパスワードを「1、2、3、4」と設定する場合、まずボタンを1回押し、間隔を置いて、2回、3回、4回と押します。最後に設定を確定させるため2秒以上ボタンを押し続けます。アクセス表示ランプが緑色に点灯したらパスワードの設定は完了です。

<p>「1、2、3、4」の場合のボタンの押し方</p>	<p>ボチ ボチッ、ボチッ ボチッ、ボチッ、ボチッ ボチッ、ボチッ、ボチッ、ボチッ 2秒以上</p> <p>1 回押す..... 2 回押す..... 3 回押す..... 4 回押す..... 長押し</p>
<p>設定中のアクセス表示ランプの変化について</p>	<p>パスワード入力中はアクセス表示ランプがオレンジ色に点滅、入力待ちの状態のときはオレンジ色に点灯します。設定中はこの点滅と点灯が繰り返されます。最後に2秒以上ボタンを押し続けると緑色に点灯し、設定が完了します。</p> <p>点滅はボタンを押した回数とは関係がありません。押した回数は設定した本人しか分からないようになっていますので忘れないようにしてください。</p>

パスワードを設定後に本製品を使用する場合

ACアダプタを接続して本製品の電源スイッチを「ON」または「AUTO」にして、付属のUSBケーブルまたはSCSIケーブルで本製品とパソコンを接続します（SCSI接続の場合は、本製品接続後にパソコンの電源をONにしてください）。

アクセス表示ランプが赤色に点灯します。

設定したパスワードを入力し、最後にロックボタンを2秒以上長押しします。

アクセス表示ランプが緑色に点灯します。これでハードディスクが使用可能な状態になります。

パスワードを誤って入力した場合は本製品の電源がOFFになります。その場合は、いったん電源スイッチをOFFにし、再度「ON」または「AUTO」にして正しいパスワードを入力してください。

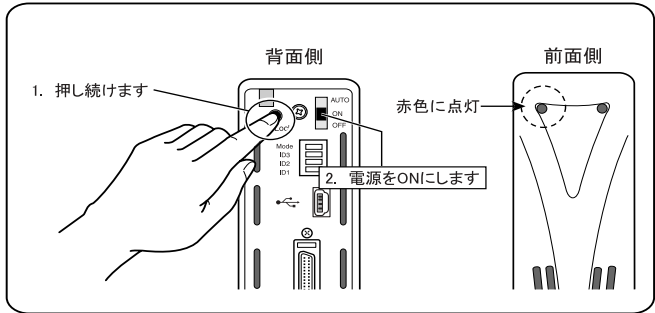


重要なご注意

- ・パスワードを設定後は、本製品の電源が入った時に必ずパスワードを入力しなければなりません。パスワードを入力しなければ本製品にはアクセスできません。
- ・SCSI接続時にパスワードロック機能を使用する場合、パソコンの電源を入れる前にパスワードを解除(入力)しなければ、パソコン側から認識されません。
- ・本製品はPC電源連動機能を搭載しているため、本製品の電源スイッチを「AUTO」に設定した場合は、すぐにパソコンに接続(起動)しないと、しばらくして自動的に電源がOFFになります。
- ・電源スイッチを「AUTO」に設定している場合、省電力モードやスタンバイモードから復帰したときに、パソコンの仕様によって、パスワードを要求しない場合があります。確実にパスワードロックしたい場合は、ご使用にならないときは、本製品の電源スイッチをOFFにしてください。

パスワードを変更する

ACアダプタを接続し、背面のロックボタンを押しながら本製品の電源を「ON」にしてください。アクセス表示ランプが赤色に点灯します。



アクセス表示ランプが赤色に変化したことを確認したらいったんボタンから指を離してください。

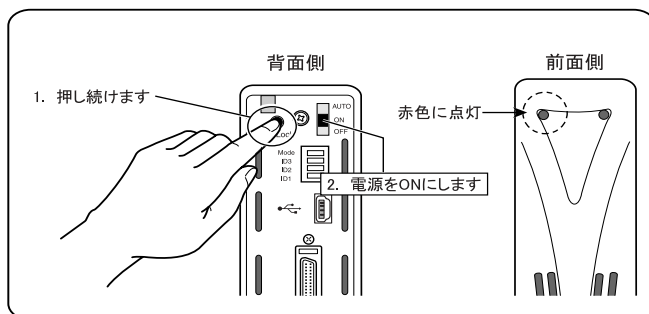
既に設定されているパスワードを入力し、最後にロックボタンを2秒以上長押しします。

アクセス表示ランプがオレンジ色に点灯します。

この後は「パスワードを新規に設定する方法」の手順と同じように新しいパスワードを入力し、最後にロックボタンを2秒以上長押しして設定を確定させます。アクセス表示ランプが緑色に変化したら新しいパスワードが設定されます。

パスワードを無効にする

ACアダプタを接続し、背面のロックボタンを押しながら本製品の電源を「ON」にしてください。アクセス表示ランプが赤色に点灯します。



アクセス表示ランプが赤色に変化したことを確認したらいったんボタンから指を離してください。

既に設定されているパスワードを入力し、最後にロックボタンを2秒以上長押しします。

アクセス表示ランプがオレンジ色に点灯したら、再度ロックボタンを長押しします。アクセス表示ランプが緑色に点灯したら、パスワードが消去されます。

パスワードを忘れた場合は...

パスワードを忘れた場合は、以下の方法で設定したパスワードを解除することができます。ただし、解除と同時にハードディスクも再フォーマットされ工場出荷時の状態に戻ります。**ハードディスク内に保存されていたデータは全て消去されてしまいますので、取扱いには十分ご注意ください。**

ACアダプタを接続し、本製品の電源を「ON」にしてください。

アクセス表示ランプが赤色に点灯します。

ここでパスワードを「10、10、10、10」と入力します。入力中はアクセス表示ランプが赤色に点滅します。

入力後アクセス表示ランプが赤色に点灯したことを確認し、入力したパスワードを決定するために、ロックボタンを長押しします。アクセス表示ランプが赤色に点滅し、2秒以上経過すると赤色に点灯します。点灯後いったんボタンから指を離してください。

再度ロックボタンを長押しします。アクセス表示ランプが赤色に点滅し、2秒以上経過するとオレンジ色に点滅します。点滅を確認したら、ボタンから指を離します。

パスワードが消去され、ハードディスクが初期化されます。終了すると、アクセス表示ランプが緑色に点灯します。

以上でパスワードの解除は終了です。

第 6 章 補足事項

6 . 1 PC 電源連動機能について

本製品はPC電源機能を搭載していますので、接続先のパソコンの電源の ON/OFF に連動して本製品の電源の ON/OFF が切り替わるようになっています。いったん本製品の電源を「AUTO」にしてパソコンに接続すれば、後はパソコンの電源の ON/OFF に連動して本製品の電源も ON/OFF されます。

本製品の ON/OFF は下表のように切り替わります。

動作	電源スイッチ		
	AUTO時	ON時	OFF時
起動中のパソコンに接続した時 *1	ON	常にON	常にOFF
接続先のパソコンの電源をONにした時	ON		
接続先のパソコンがスリープや省電力モードから復帰したとき	ON		
USBケーブルまたはSCSI ケーブルを外した時	OFF		
パソコンがシャットダウンした時	OFF		
パソコンが、スリープや省電力モードになった時	OFF		

*1 SCSI接続時は、起動中のパソコンに接続しても本製品は認識されず、電源も自動的に OFF になります。

次ページの注意事項もご参照ください。



ご注意

- ・パスワード入力待ちの状態の場合、本製品の電源スイッチを OFF にしない限り電源は OFF になりません。
 - ・PC カードタイプの SCSI インターフェースをご使用の場合は PC 電源連動機能をご使用になれません。また、ご使用の SCSI インターフェースボードの仕様によっては PC 電源連動機能が機能しない場合があります。そのような場合は本製品の電源スイッチを ON にしてご使用ください。
 - ・スタンバイ状態から復帰する時にシステムが不安定になるような場合は、スタンバイ(省電力)機能を OFF に設定してください。
 - ・SCSI 接続時に複数の機器をデジチェーンにて接続している場合は、PC 電源連動機能が働かない場合があります。
-

6.2 オプション品について

弊社ではインターフェースボードやケーブルなどを別売のオプション品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www.logitec-direct.jp>

USB 2.0 インターフェースボード、インターフェースカード

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は、以下のインターフェースボード（PCI バス用インターフェースボードもしくは CardBus 対応インターフェースカード）をご使用ください。

PCI バス用 USB 2.0 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA- USB2VA	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP, Me, 98, 2000対応

CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM- CBUSB2HB	CardBus	インターフェースカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応

SCSI インターフェイスボード

PCI バス用 SCSI インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA-600S	PCI	インターフェイスボード単体 Ultra SCSI D-Sub ハーフピッチ 50 ピン

上記 SCSI インターフェイスボードは、DOS/V パソコン、PC98-NX シリーズ、Macintosh シリーズ (Mac OS X は非対応) で共通使用できます。



ご注意

弊社より発売されている、上の SCSI インターフェイスボードは Mac OS X には対応していません。

6 . 3 トラブルシューティング

SCSI 接続時に本製品を接続したら、システムが起動しなくなった。

本製品の ID ナンバーが他の SCSI 機器と競合していないかどうか確認してください。

本製品を接続したが認識されない。

電源スイッチの状態、電源コードを接続したコンセントの状態を確認してください。

ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？
本製品をハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに本製品だけを直接接続して試してみてください。

USB 接続時に本製品背面のディップスイッチ 4 (強制 SCSI) を「ON」になったままではありませんか？ USB 接続時はディップスイッチ 4 (強制 SCSI) は必ず「OFF」にしてください。

SCSI 接続の場合、電源スイッチを「AUTO」ではなく「ON」にして試してみてください。それでも駄目な場合は、ディップスイッチ 4 (強制 SCSI) と電源スイッチを共に「ON」に設定してみてください。

接続先のインターフェースは正常に認識されていますか？
インターフェースのドライバはインストールされていますか？

ハードディスクのフォーマットは行ないましたか？ご使用の OS によって使用 (認識) できるファイルシステムとパーティションの容量に制限があります。次ページの表で、接続先のパソコンに搭載されている OS が本製品のファイルシステムを使用可能かご確認ください。

Windows NT 4.0 と Mac OS 10.0.4 ~ 10.1.5 をご使用の場合は、本製品の出荷時フォーマットでは認識されません。必ずフォーマットし直してご使用ください。

OS	ファイルシステム			
	Windows XP Windows 2000 NTFS	FAT32	HFS	Windows NT 4.0 NTFS
Windows 98	×		×	×
Windows Me	×		×	×
Windows XP		*1	×	×
Windows 2000		*1	×	×
Windows NT 4.0	×	×	×	
Mac OS *3	×	*2		×

*1Windows XP、2000上でフォーマットする場合、32GBまでしか確保できません。(Windows Me、98上でフォーマット済みのものはそのまま認識できます。)

*2Mac OS X 10.2以降の場合、120GBまでしか認識されません。

*3Mac OS X 10.0.4～10.1.5の場合、FAT32形式は認識されません。

本製品の電源を入れるとアクセス兼転送モード識別表示ランプが赤く点灯し、認識されない。

パスワードロック機能により、ロックされています。正しいパスワードを入力して解除してください。

パスワードが不明な場合は本書45ページ「パスワードを忘れた場合は...」を参照して、パスワードの消去をしてください。この場合、ハードディスク内部のデータは全て失われます。

アクセス兼転送モード識別表示ランプで

高速転送モードか低速転送モードかを確認できない。

USBまたはSCSIのドライバは正常にインストールされますか？アクセス兼転送モード識別表示ランプはOS上でSCSI、USB 2.0またはUSB 1.1のドライバが正常に読み込まれてはじめて点灯します。

Windows XP,2000で「ディスクの管理」が起動できない。

「ディスクの管理」を起動するには、管理者権限を持つユーザー(例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」)としてログオンしていなければなりません。

USB 接続時にデータの転送速度が遅い。

USB 2.0 のポートに正しく接続されていますか。

USB 1.1 のポートに接続されている場合、データの転送速度は Full-Speed(12Mbps) までとなります。High-Speed (480Mbps) でデータ転送を行うには USB 2.0 ポートにつなぎかえてください。

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェースボード (PCI 用インターフェースボード、もしくは CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード) を接続してドライバのインストールを行ってから、接続しなおしてみてください。

特定のソフトウェア (ディスク修復ツールなど) で

本製品を使用できない。

一部のユーティリティソフトウェアでは、USB のようなホットプラグ対応のインターフェースで接続したハードディスクを動作対象としていない場合があります。ソフトウェアメーカーに問い合わせて、そのソフトウェアが USB 接続のハードディスクを動作対象としているかどうかを確認してください。

Mac OS 8.6 の環境で

本製品のドライバをアンインストールしたい。

(USB 接続時のみ)

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

Logitech USB-C1 Shim

Logitech USB-C1 Driver

時々エラーが発生するなど、動作が安定しない。

USB 接続でご使用の場合、本製品付属のケーブルまたは USB 2.0 High-Speed 対応のケーブルを使用していますか？ SCSI 接続でご使用の場合、ケーブルが長すぎませんか？複数の機器を接続している場合は、本製品だけを接続して試してみてください。また、インピーダンスの低いケーブルはトラブルの原因になります。可能であればケーブルを交換して試してみてください。

本製品の物理フォーマットができない。

本製品は物理フォーマットをサポートしていません。論理フォーマット(通常のフォーマット)のみでご使用ください。

スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ(サスペンド)状態の処理方法によりこのような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカーから供給されるアップデートプログラムなどによりこの現象を回避できる場合もあります。

アップデートプログラム等が用意されていない場合は、スリープ(サスペンド)機能をOFFにしてご使用ください。

その他：弊社Webサイトについて

弊社ではインターネット上にWebサイトを開設しています。Webサイトではソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

弊社Webサイトアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

Memo

Memo

廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

パソコン及び周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。

ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなくパソコン及び周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

ハードディスクを廃棄する場合

ご使用のハードディスクを廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

なお、弊社では、ハードディスク上のデータを電氣的に強磁気破壊方式（ ）により完全に消去するサービスを有償にて行っております。重要なデータを消去後に廃棄する場合などにご利用ください。

磁気記録装置に強磁界を印加し、物理破壊を伴わずに磁気データを破壊します。磁気ヘッドを制御するためのサーボ情報や駆動用のマグネットの磁気も消去しますので、ディスクを再利用することはできません。

データ消去サービスの詳細については、弊社ホームページ（<http://www.logitec.co.jp>）をご参照ください。また、お問合せは、下記窓口までお願い致します。

（技術的なお問合せは弊社テクニカルサポートにお願いします。）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 ロジテックサポートソリューション

データ消去サービス係 5番受入窓口

TEL : 0265-74-1423 / FAX : 0265-74-1403

参考

付属のLogitec HDサポートディスク内に収録されている、「ディスクデータイレサ」(Windows環境のみ)を使用することで、ハードディスク上のデータを全て消去することができます。消去後に再フォーマットすることにより再利用が可能です。消去されたデータは、パソコンでは読み取り不能となります。ただし、ソフトウェアによる消去の場合、専門機関等の特殊な環境でもデータが復元されないことを、保証するものではありません。

パスワード控え欄

設定したパスワードを忘れると、ハードディスクに保存したデータにアクセスできなくなります。この欄にパスワードを書きとめて忘れないようにしてください。

パスワード

--	--	--	--

パスワードを忘れた場合は、パスワードを解除することにより再度本製品にアクセスできるようになります。ただし、**パスワードを解除する際、ハードディスクは再フォーマットされ保存されているすべてのデータは消去されます**のでご注意ください。詳しくは「第5章 パスワードの設定」の「パスワードを忘れた場合は...」をご参照ください。

保証と修理について

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。

故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)の最低保有期間は、製品終息後5年間です。(修理に代わって同等品と交換させていただく事があります)

オンラインユーザー登録について

弊社Webサイトより、ユーザー登録いただくことをお勧めします。

L-site <http://www.logitec.co.jp/>

登録いただいたお客様を対象に、ご希望に応じて弊社発行のメールマガジン、弊社オンラインショップからの会員限定サービスをご案内させていただきます。また、登録いただいた製品に関連する重要な発表があった場合、ご連絡させていただくことがあります。

個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録・修理依頼・製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的の為に関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は細心の注意を払って管理いたしますのでご安心ください。

サポート / 修理受付窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。
FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

現在の状態（できるだけ詳しく）

製品の名称 / シリアル番号

弊社テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

弊社へ修理品を発送される場合の送付先・注意事項

郵送または宅配便にて修理依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品をご送付ください。

- ・ 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所 / 電話番号）」、「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積りへの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

弊社修理受付窓口（修理品送付先）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 修理サポートセンター（3番受付窓口）

TEL：0265-74-1423 FAX：0265-74-1403

受付時間：9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

上記電話番号では、修理依頼品や各種サービス（ ）等に関するお問い合わせ以外は承っておりません。製品に関する技術的なお問い合わせや修理が必要かどうかについてのお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

データ消去サービスやオンサイト保守サービス、ピックアップサービス等の各種サービスを指します。これらのサービスは対象製品が限定されています。また、有償の場合や対象期間内無償の場合など、内容は異なります。詳しくは弊社Webサイトをご参照ください。

弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。

お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいたしますよう、お願いいたします。

Logitec HD ユニット・ユーザーズマニュアル

2006年 3月改訂

LHD-EASU2 V03

製造元：ロジテック株式会社

Logitec
<http://www.logitec.co.jp/>